

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月17日 (2011.3.17)

【公開番号】特開2009-222980(P2009-222980A)

【公開日】平成21年10月1日 (2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2008-67203(P2008-67203)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

G 0 2 B 5/30

G 0 9 F 9/00 3 0 4 B

G 0 9 F 9/00 3 2 4

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月24日 (2011.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一対の基板の間に電気光学物質が挟持されてなり、光を変調する電気光学パネルと、  
前記電気光学パネルと熱を授受可能に配置され、ガラスより高い熱伝導性を有するグリ  
ッド偏光子が形成された偏光ガラスと、を備え、  
前記グリッド偏光子は、前記偏光ガラスの前記電気光学パネル側に設けられる  
ことを特徴とする電気光学装置。

【請求項 2】

前記グリッド偏光子からの熱を受け取り放熱する放熱手段を更に備えることを特徴とす  
る請求項 1 に記載の電気光学装置。

【請求項 3】

前記グリッド偏光子は、ワイヤーグリッドであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記  
載の電気光学装置。

【請求項 4】

前記偏光ガラスは、前記電気光学パネルにおける前記光の入射側に配置されていること  
を特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の電気光学装置。

【請求項 5】

前記偏光ガラスは、前記電気光学パネルにおける前記光の入射側に加えて前記光の出射  
側に配置されることを特徴とする請求項 4 に記載の電気光学装置。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の電気光学装置を備えることを特徴とする電子機  
器。